



## ●有限会社 ロワール商事

所在地 丸亀市綾歌町富熊 428-1  
業種 小売業  
事業概要 食器、キッチンツールなどの雑貨、家具、照明などの販売、住宅のコーディネート他  
従業員数 23人（男性3人、女性20人）

### ○制度を知り、利用しようと思ったきっかけ

今回、育休申請をした社員本人から1年間の取得希望の相談があった際、国の助成制度と一緒に聞いたように思う。あと、来てもらっている社労士さんからも情報提供があり、制度を知ることができた。

### ○この奨励金を利用して気づいた点

奨励金の利用というより、育休をとってもらい気づいたことがひとつ。平均年齢が若い職場のため、子育て期には、育児に時間を取られるのは当然だという認識が自分たちの職場全体にもともとあったと思う。確かにカバーする社員は業務負担と感じたかと思うが、もちつもたれつで順番に助け合うものという気持ちになれたのは、育休で休む社員の普段のがんばりを他の社員が見ていたというものが大きな要素だったと感じる。また、育休取得した社員も重要な納品時などには出勤するなど、どうすればうまくいくか良く考え行動してくれたと思う。人手不足で、申し訳ないとは思ったが…。

### ○次世代法に基づく一般事業主行動計画を策定してどうだったか

若い人を求人するときに意識するのは、若い人が考える「仕事と暮らしの両立」とはどのようなものかということ。若い人の考え方を正しく捉え、そこをアピールするには、行動計画の考え方は役立っている。

### ○育児休業を取得した社員さんの申請から育休復帰に向けて

子どもが双子だったこともあり、「妻に育児等を任せきるのではなく、協力してやっていきたい。ついては、1年育休を取りたい」と申請前に相談があった。会社のコンセプトが『心地いい暮らし』であり、このマインドを大事にするためには、社員にそう感じてもらうことが重要という思いもあり、了解したことを覚えている。

自分（店長）が子どもを出産し、その後職場復帰をしたころを思い出すと、復帰してしばらくは休む前の感覚に戻れなかったが、今回取得した社員は、1年休んでいたことを感じさせない働きぶりで、育休中でも商品知識を吸収する努力であったり、復帰後のイメージというものを考え続けていたりしたのだと思う。

周りの社員に対しての影響という点では1年という育休期間を考えると「自分がやらなくては」という意識が強く育ったのではないかと思う。

（裏面へ続く）

### ○同業他社または顧客へ育児休業取得について話をされたことはあるか

2か月に1回、お客様向けの手紙を作成・発信しており、今回の育休についても取得前に情報発信をしたが、お店をよく知るお客様からは「コネクトラしい」との言葉を頂いた。『心地いい暮らし』に共感していただけたものと大変うれしく思う。



▲『心地いい暮らし』はWLBにも通じる

### ○男性従業員が育児休業取得について、言い出しやすいよう工夫したことはあるか

以前から、男性社員だけでなく女性社員に対しても育休制度についての周知をしていた。また、月に1回社員面談をしており、会議やミーティングとは違う、心のうちを伝えてもらう機会として臨んでいるので、いろいろなことを言い出しやすいのでは。

### ○ワーク・ライフ・バランスの必要性についてどう思うか

会社として、給料を出していくためには生産性を向上させないといけないという課題がある。仕事と家庭の両立が叫ばれる中、権利の主張ばかりではダメで、業務としてやるべきことはやっていくという観点も重要だと考える。ワーク・ライフ・バランスという言葉の本当の意味を理解したうえで取り組むことが大切だと考える。

### ○ワーク・ライフ・バランス推進、働きやすい職場環境づくりのために行政からどのような支援があったらいいと思うか

ワーク・ライフ・バランスの本当の意味を啓発していくことが重要だと思う。あと、働き続けるには、保育所に入所できないといけない家庭がある。待機児童対策をしっかりとやってほしい。

#### **(取材を終えての感想)**

取材のあと、会社のホームページを再度閲覧しましたが、お話をお伺いした店長さんの自己紹介のコメントが素晴らしかったです。「……子育てをしながら仕事に燃えています」。

育休などを希望しても取得できないから退職という選択をとる社員がいるとすれば、会社にとって、それはマイナスと言われていました。人材は人財なり。人を育てるには時間がかかります。だからこそ、仕事を理解している社員を大切にという気持ちを優先し、ヨーロッパでは主流である長期育休にも理解を示されたのだと思います。そのうえで「仕事に燃える」を実践し、社員と一緒にやっという率先垂範の行動姿勢が、社員だけでなくお客様の共感にも通じているものと感じました。